

未来の働き方 への移行を 加速する 5つの方法

変わり続けるビジネス
環境で革新と成長を実現
していくうえでコラボ
レーションツールが果たす
役割について説明します。

貴社は未来の働き方
へ至る道のりのどの
段階にいますか？

[チェックする](#)





1 億 4,000 万人

Google Workspace を使用
している学生と教育者の数

1. 人材を引き付けて維持できるような柔軟な働き方モデルを導入しましょう。

- 会社員の 3 分の 2 以上が、週に 2 日以上オフィスから離れて仕事をしたいと考えています¹。
- 柔軟な働き方ができるかどうかは、多くの会社員にとって重要なポイントです。柔軟なモデルの導入は、パフォーマンスの高い人材の獲得につながります。
- これから社会に出てくる若い世代は、仕事はどこからでも作業ができるツールを使ってするものだと考えています。

¹PwC、米国におけるリモートワークに関する調査、2021 年

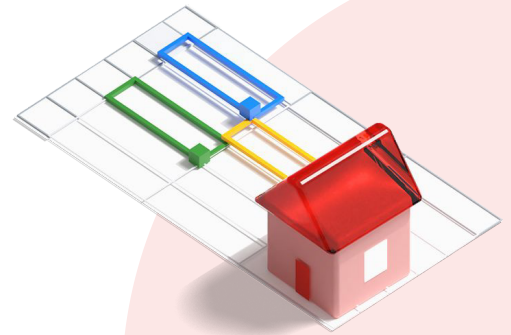


ほとんどの人が、個人的にも Gmail をはじめとする Google Workspace アプリをすでに使用していることがわかりました。特に、若い人たちからは入社後「ここでは Google Workspace を使えるんですね」という声をよく聞きます。彼らはすぐに仕事になじんでくれます。”

米国アリゾナ州 プログラム マネージャー Heather Sheston 氏

2.

仕事は特定の場所でするものではなくになりました。従業員がしっかりと線引きをし、バランスを取れるよう支援しましょう。



- パンデミックの中、会社員たちは個人の時間と仕事の時間のバランスを取るのに苦労しています。
- 従業員のステータスを状況に応じて表示できるツールを使用しましょう。ステータス例: 業務時間内、不在、予定なし、予定あり
- 従業員がどこで仕事をしていても、ユーザー、データ、デバイスを脅威から保護するコラボレーションソリューションを選びましょう。



Google Workspace は、不正なソフトウェア、フィッシング攻撃、**迷惑メールの99.9% をブロック**します。



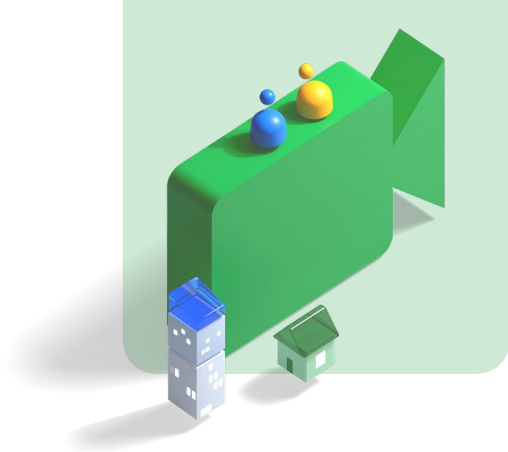
Googleのおかげで、これまでの固定概念に縛られない方法でビジネスを継続させ、従業員の安全とつながりを維持できました。Google Workspace を使えば社内での共同作業は簡単です。Meet を使って、ヘルプデスクも24 時間 365 日対応で稼働しています。また輸送部門では、Google Workspace 上に構築した在宅勤務対応ディスパッチプラットフォームを使用して、「社会的距離」措置を実践できました。”

Schnucks エンドポイントおよびクラウド セキュリティ担当シニアマネージャー **Mike Kissel** 氏

3.

ビデオ会議のベスト プラクティスを採用して、従業員がオフィスと自宅のどちらで仕事をしているかに関係なく、常に連絡を取ることができるようにしましょう。

- おそらく、まだしばらくは社会的距離を取る必要があるでしょう。必要な広さや使用人数などを勘案し、会議室の使い方を再考しましょう。
- 会議室のサイズを小さくして部屋数を増やし、個人のスペースを増やすことを検討しましょう。また、これらの場所にはビデオ会議設備を備えておくようにします。同時に、社会的距離を取りつつ共同作業やちょっとしたチーム ミーティングができるよう、共有スペースを作り、予約して使えるようにします。
- できるだけ手で物に触れる回数を減らせるようにしましょう。たとえば、音声コマンドでビデオ会議の開始と終了ができるようにします。



Google Meet が 2020 年第 3 四半期にホストしたビデオ会議は、1 日の利用者数が 2 億 3,500 万人、1 日の会議時間は 75 億分に上りました



当社は世界中にチームがあるのですが、連絡を取り合うのに Meet が大活躍しました。オンサイト勤務から在宅勤務モデルに移行するにあたり、お互いを思いやる当社の文化を守り、育てていくのに役立ちました。リアルタイムの共同作業、ライブ会議、あるいはバーチャルハッピーアワーでのストレス軽減など、当社のチームは Meet をいろいろな方法で活用しています。お互いの間に距離はありますが、確実に「対面」で連絡しあえることは、仕事を続ける熱意を保つうえでかけがえのない力となりました。”

Telus 最高情報責任者
Michael Ringman 氏

4. ビデオ会議をするだけではコラボレーションとは言えません。仮想的にアイデアのブレインストーミング、改善、発表を行えるようにする、シームレスに統合されたツールを従業員が使えるようにしましょう。



- 従業員がチームとして機能するためには、ビデオ会議だけでなく、非同期コミュニケーション、単一ファイルでの同時作業、共有リソースの検索などができるツールが必要です。
- メッセージング、会議、ドキュメント、タスクをまとめた統合ワークスペースにより、従業員は作業の進め方の模索ではなく、実際の作業により多くの時間を使うことができます。
- フロントラインワーカーを含むすべての従業員がクラウドネイティブのツールが使えるようにすることで、コラボレーションとイノベーションを促進し、ビジネスを推進できます。



Google Workspace を使用して、医療従事者が行う管理タスクをより効果的かつ効率的にしています。これにより、医療従事者は患者と対面時間を約 30% 増やすことができました。これは、私たちがずっと望んでいた結果です。”

Hunterdon Healthcare 最高情報責任者
Daniel Morreale 氏

75%

Google Workspace
によって革新的に働く
ことができるように
なったと感じている
ユーザー²

²Google 社内調査、2019 年

5.



Google Workspace は世界中の
20 億人以上のユーザーに使用
されています

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）により、仕事を取り巻く環境は変わりました。ツールセットを見直して、より統合された、より柔軟な方法で前進しましょう。

- パンデミックの間に従業員が共同作業を行うのに使用したすべてのツールを特定します。合理化とコスト削減を実現し、かつ従業員の混乱を最小限に抑えられる方法を見つけましょう。
- 長期的なソリューションを選ぶ際には、変更に伴う混乱や管理作業をできるだけ少なく抑えつつ、従業員が新しいツールをすばやく簡単に使い始められるようにすることが肝要です。
- 統合されたワークスペースを導入すると、従業員がアプリから別のアプリに切り替えるのに費やす時間を減らせるため、生産性が向上します。同時に、コンテキストに基づくインテリジェントな提案を活用して作業の効率性をさらに高めることもできます。



Google Workspace ではデプロイや使用が非常に簡単なソリューションが提供されているため、従業員のコラボレーション ツールをデプロイし保守する際にこれまで経験したような苦痛は一切感じません。”

Nielsen 最高情報責任者 Kimberly Anstett 氏



メール



チャット



会議



ドキュメント



ドライブ



その他

これから社会人になる学生等を含む何十億人ものユーザーに愛用されている **Google Workspace** は、従業員が効率的にコミュニケーションやコラボレーションを行えるようにします。Google Workspace は、オンサイト体制への復帰、リモートワーク体制の拡充、あるいはハイブリッドモデルの構築のいずれに向かっている組織でも、最も重要な資産、すなわち従業員が力を合わせ、俊敏に、そして革新的に働けるよう支援します。

詳細については workspace.google.com をご覧ください

数百万の企業から信頼され、未来の働き方への移行を加速しています。

NETFLIX



AIRBUS



貴社は未来の働き方へ至る道のりのどの段階にいますか？



[チェックする](#)



Google Workspace